

令和2年度多文化共生推進事業の取組状況について

本市では、外国籍市民が年々増加しており、国籍別ではブラジル、ベトナムの順に多くなっています。また、永住者や定住者の外国籍市民も増えている状況から、本市においても多文化共生の必要性が高まっています。令和2年度から半田市多文化共生プランに基づき、共生社会の実現に向けた取り組みを行っています。令和2年度の主な事業は以下のとおりです。

1. 多文化共生相談窓口の開設

ブラジル人及びベトナム人の多文化共生相談員を市民協働課に配置し、相談及び市政情報の翻訳を行っています。

また、13言語に対応するテレビ電話通訳等を導入し、外国籍市民に対する相談体制の充実を図っています。



多文化共生相談窓口（市民協働課）

●令和2年11月末現在の状況

【相談者の国籍】

(人)

ブラジル	ベトナム	ペルー	フィリピン	ネパール	欧米諸国	中国	合計
116	18	8	5	4	2	2	155

【相談内容】

(件)

入管手続	雇用・労働	社会保険・年金	税金	医療	出産・子育て
2 (2)	12 (10)	9 (8)	18 (18)	2 (2)	36 (32)
教育	住宅	身分関係	通訳・翻訳	その他	合計
4 (2)	19 (17)	15 (12)	9 (9)	32 (25)	158 (137)

※ () 内は、テレビ電話通訳の件数

2. フェイスブック「Komaran はんだ一多文化共生」による情報発信

多くの外国籍市民が利用しているフェイスブックを活用し、市の情報や生活に役立つ情報を多言語（やさしい日本語、ポルトガル語、ベトナム語）で発信しています。

投稿した内容 年末年始の情報、日本語教室の情報、ごみの出し方やごみ有料化、新型コロナウイルス関連情報 など



「Komaran はんだ一多文化共生」

3. やさしい日本語の普及啓発

外国籍市民との相互理解に必要となる、日本語を簡潔にわかりやすくした「やさしい日本語」の普及啓発を行っていくこととしています。市職員にも、行政サービス、暮らし、防災など、生活に関する情報を外国籍市民に正しく伝えることが求められるため、今年度は、職員40名を対象に研修を実施しました。



「多文化共生推進職員研修」